カメラスケッチ

広報マンが行く!!

このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかけつけます。お気軽にご連絡ください。

まちづくり政策課政策調整係　☎４８２-２９１３（課直通）

４月21日

火遊びは絶対にしないでね
川湯防火管理協議会が子どもたちにプレゼント

園児に絵本を手渡す小泉会長（右）

川湯防火管理協議会（小泉裕会長）では４月21日、川湯小学校の１年生に消火器型のえんぴつ削りと消しゴムのセット、川湯保育園児には消防車のお話などの絵本を贈りました。

春の火災予防運動に合わせて、毎年行っています。「ひあそびはしません」と書かれたポケットティッシュも配布し、子どもたちに火の用心を呼び掛けました。子どもたちはプレゼントに歓声を上げ「火遊びはしません」と約束しました。

４月26日

放水技術の向上ときれいな街並みを目指して
川湯消防団川湯支署が道路で放水訓練

道路清掃を兼ねて放水訓練

釧路北部消防事務組合川湯消防団（濱岡正次団長）と川湯消防支署（村山和也支署長）では４月26日、毎年恒例の放水訓練を行いました。

消防職団員の放水技術の向上と、観光シーズンの到来に合わせて雪解け後に残ったごみなどを洗い流し、川湯温泉街をきれいにする目的で実施されています。今年は32人が参加。ホースを巧みに操り、道路にたまった枯葉などをきれいに洗い流しました。

職団員は、きれいになっていく道路と街並みに、川湯温泉街の火の用心と防災の誓いを新たにしていました。

４月25日・５月７日

自分たちの町をきれいに
川湯地区の皆さんが清掃活動

道路などを丁寧に清掃

川湯温泉まち・川湯第３・川湯敷島町・川湯みどり・川湯駅前各自治会の皆さんが４月25日、川湯跡佐登自治会の皆さんが５月７日、川湯温泉市街地と川湯駅前地区の清掃を行いました。

観光シーズンの幕開けを前に地域をきれいにしたいと、例年この時期に行っています。約290人が参加し、合計で軽トラック13台分、2,090キロのごみを集めました。

５月11日

たくさんの鳥を見つけられました
川湯ＥＭＣの自然ふれあい行事

好天に恵まれた観察会

川湯エコミュージアムセンター主催の阿寒国立公園指定80周年記念・自然ふれあい行事「春の野鳥 探鳥観察会」が５月11日、町内外から15人が参加して、和琴半島で行われました。

講師は、摩周・屈斜路パークボランティア会員で、日本野鳥の会釧路支部長も務める黒澤信道さん。鳥の声を頼りに、双眼鏡やフィールドスコープ（望遠鏡の一種）を使って主を探したり、動きを観察したりしました。確認できたのは水鳥や年間を通して姿が見られる留鳥（りゅうちょう）、春から秋にかけて生息する夏鳥など25種類。参加した皆さんは、説明を聞きながらのバードウオッチングを楽しみました。

５月３日～31日

今にも飛び立ちそうな木の鳥を鑑賞
川湯ＥＭＣでバードカービング展

今井さん（右）から制作秘話を聴く

川湯エコミュージアムセンターの２階ギャラリーで５月３日～31日に、今井巧さん（川湯温泉在住）の「バードカービング展」が行われました。

バードカービングとは、木を素材に鳥を彫り出し、色づけして足を仕上げ、台座に止まらせて完成させるもの。今回は、置き型と壁掛け型合わせて約30点が並びました。生き生きとした鳥の姿はもちろん、流木のように見える枝や背景なども手作りしていることを知ると、見学していた方からは驚きの声があがっていました。

今井さんは「身近な自然を見直し、環境の大切さを再認識してほしい」と話していました。

５月13日

源泉かけ流しを縁に相互振興を
川湯温泉とぬかびら温泉郷の若者が交流

今後について活発に意見交換

川湯温泉街とぬかびら温泉郷（上士幌町）で働く若者の意見交換会・交流会が５月13日、川湯温泉で行われました。

両温泉は日本源泉かけ流し温泉協会に加盟していて、年に一度開催される源泉かけ流し全国温泉サミットなどを機に交流しています。今回は10人が参加し、お互いの温泉地が抱える課題などについて意見を交換。双方が連携してイベントを開催したいなどの意見が出されました。次回は、川湯温泉の若者がぬかびら温泉郷を訪ね、意見を交わす予定です。

５月11日

シマフクロウを守るためにできることは
環境省主催のシマフクロウ勉強会

間近で観察して関心高める

環境省釧路自然環境事務所主催の阿寒国立公園指定80周年記念「シマフクロウ勉強会～森の番人シマフクロウと共に生きるためには？～」が５月11日、屈斜路ウオータースポーツ交流公園で行われました。

町内外から約50人が参加。猛禽（もうきん）類医学研究所（釧路市）の渡辺有希子獣医師が、シマフクロウが絶滅危惧種に指定された理由などについて説明しました。会場には、先天性疾患のため野生復帰が困難なシマフクロウ親善大使「チビ」も登場。川湯自然保護官事務所の中原一成自然保護官は「シマフクロウ保護のために、自分たちでできることを何か一つでもよいので考えてもらいたい」と話していました。

５月15日

車椅子には少しの段差も大変なんだね
和琴小児童がバリアフリーについて学ぶ

階段上れるかな

和琴小学校（森敏隆校長）の３・４・５年生の児童が５月15日、総合的な学習の時間でバリアフリーについて学びました。

バリアフリーについて学ぶのは今回が初めて。弟子屈町社会福祉協議会から車椅子を借り、乗り手と押し手それぞれの立場を体験しました。子どもたちは、役場前駐車場から図書館や役場庁舎へ。図書館では押し手が本を取ってあげたり、トイレまでの介助などにも挑戦しました。歩道の段差など車椅子にとって危険な箇所などにも気づき「乗る人の気持ちになって車椅子を押すのは大変だった」などの感想が聞かれました。

５月15日

観光客が多く訪れる場所をきれいに
弟子屈町４Ｈクラブが町道でごみ拾い

手分けしてごみ拾いを行うメンバー

農業青年で組織する弟子屈町４Ｈクラブ（猪狩大輔会長）の皆さんが５月15日、９〇〇草原に続く町道（鐺別平和線）のごみ拾いを行いました。

毎年、この時期に行っています。当日は曇天ではありましたが、暖かい中の作業となりました。

例年よりも比較的ごみは少なかったものの、空き缶やペットボトルを中心に、中にはプランターに使う柵などもありました。約１時間の作業で10キロのごみを拾いました。

５月20日

ふるさとの良さを再認識
春のツアーで名木を観賞

名木に目を細める参加者

町が指定した名木を巡るツアーが、５月20日に開催されました。

名木は、地域の象徴とされているものや歴史的価値があるもの、景勝上優れているものなどを2006年に指定。ツアーは2007年から春と秋の年２回開催され、春は桜を中心に行われています。今回も根釧西部森林管理署との共催で、釧路市などから28人が参加。名木の選考委員長を務めた須田文男さんの説明を聞きながら見学しました。今年はあいにく桜の時期は終わってしまっていましたが、好天の中、名木の見事な姿に見入っていました。

５月16日

地域からより多くの自衛官を
自衛官募集相談員に委嘱状を交付

委嘱状を受け取る中村さん（右）と山田さん（右から２人目）※奈良さんは欠席

自衛官募集相談員の委嘱状交付式が５月16日、役場で行われました。

自衛官募集相談員は、自衛官を希望する方への情報提供など、自衛官募集に関する事務について地域での協力をお願いしている方で、任期は６月１日～2016年５月31日の２年間。徳永町長と山下和敏自衛隊帯広地方協力本部長の連名により委嘱されます。今回委嘱されたのは、中村友一さん、山田定雄さん、奈良道憲さんの３人。今後２年間にわたって、募集広報について活動していただきます。